

石塚 大輔 *Daisuke Ishizuka*

役職

- ・ スポーツデータバンク株式会社 代表取締役
- ・ スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役
- ・ スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社 代表取締役
- ・ 台湾思動邦有限公司 董事長兼總經理
- ・ SDBGホールディングス株式会社 取締役
- ・ 一般社団法人日本ジュニアスポーツクラブ 事務局長
- ・ 一般社団法人日中健康寿命促進協会 理事
- ・ 沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会 運営会議委員（内閣府沖縄総合事務局）
- ・ スポーツイノベーションプラットフォーム北海道 コーディネーター（北海道経済産業局）
- ・ 中国地域の広域プロスポーツネットワークを活用した中国地域スポーツ関連産業創出プロジェクト コーディネーター（中国経済産業局）



略歴

- 2003年 スポーツデータバンク株式会社 創設メンバー
- 2012年 一般社団法人日本ジュニアスポーツクラブ 事務局長 就任
- 2015年 スポーツデータバンク株式会社 取締役 就任
スポーツデータバンクコーチングサービス株式会社 代表取締役 就任
台湾思動邦有限公司 董事長兼總經理 就任
- 2016年 スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役 就任
地域連携型ヘルスケアビジネス創出事業 アドバイザー（H28～30年度：北海道庁）
- 2017年 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの作成検討委員会 委員（文部科学省・スポーツ庁）
- 2018年 スポーツエコシステム構築推進検討委員会 委員（スポーツ庁）
スポーツイノベーションプラットフォーム北海道プロジェクトマネジャー（北海道経済産業局）
- 2020年 スポーツデータバンク株式会社 代表取締役 就任

執筆活動 書籍

- ・ スポーツビジネスの未来2018～2027（テーマ）7.2学校教育×スポーツ（日経BP社）
- ・ スポーツビジネス概論2（叢文社）（2016）黒田次郎、萩原悟一、石塚大輔
- ・ スポーツビジネス概論3（叢文社）（2018）黒田次郎、萩原悟一、石塚大輔

学校部活動

教職員の負担軽減・地域密着

全国各地各自治体や教育委員会などと連携して、新しい「教職員の働き方」を支援しています。地域で地域を支える“企業協賛型部活動支援モデル”の構築を目指します。また、日本「BukatsuDO」として海外輸出を行っています。



事例

【国内】

- ・2010年度～2018年度(累計)
 中学校22校37部活動(公立・私立含む) 高等1校10部活動(公立)
 中高一貫校1校1部活動(私立)(東京・大阪・京都・埼玉・岩手・沖縄など)

・2018年度 東京都教育庁

平成30年度 部活動推進統括コーディネーター事業

【その他】

平成28年度 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討委員会

【海外】

日本型部活動の輸出 (BukatsuDO) タイ/台湾 (予定)

例えばこんな課題に

教職員の部活動の負担を軽減したい



部活動におけるノウハウ・ソリューションの提供

教職員の負担軽減・指導者の雇用創出

部活動における様々な負担や悩みをノウハウやソリューションを提供することにより解決します。また、部活動の指導によるスポーツ人材の雇用創出につなげていきます。

企業協賛型 民間委託モデル

17年2月より沖縄県うるま市で実施した企業協賛モデル。自治体や学校からの予算ではなく、地域の民間企業や団体からの支援(協賛)により運営。



学校運動部活動の課題を民間活力により解決

昨今、学校現場における様々な課題があがっており、2017年頃から徐々にスポーツ庁を中心とした改革が始まっています。当社では、2010年から東京都杉並区内の公立中学校への外部支援開始をはじめとし、これまで全国各地各自治体・教育委員会・学校等と連携して「教職員の働き方改革」「子どもたちの健康増進・スポーツ力向上」を目的に部活動支援事業を行っており、2017年以降、沖縄県うるま市では、地域で地域を支える“企業協賛型部活動支援モデル”を実施しています。

例えばこんな課題に

教職員の部活動の負担を軽減したい



部活動におけるノウハウ・ソリューションの提供

教職員の負担軽減・指導者の雇用創出

連携自治体数 **11** 箇所

支援学校数 **45** 校

支援部活動数 **101** 部活

※2020年3月現在